



Seisen  
Junior & Senior  
High School

# カイロス

καίρος

第64号

清泉女学院中学高等学校

〒247-0074 神奈川県鎌倉市城廻200  
TEL 0467-46-3171 FAX 0467-46-3157 <http://www.seisen-h.ed.jp>

2017年12月21日発行

「やってみよう」を応援します。



小川 幸子

先日、私はベトナムのハノイに行きました

た。行ったことのある先生は口々に「道を渡るときは気をつけてください。」と忠告してくださいました。私はあまりピンとこなかったのですが、ホテルに着いた後、一人で向かいのデパートに行くため道路を渡るうとした時、その忠告の意味を思い知りました。車やバイクがどんどん来るので渡るタイミングが全くつかめないのです。思い切って傍らの現地ベトナム人に做って私も一歩踏み出すと、車やバイクは避けてくれるのですが、止まってはくれず、私は道路の真中で立ち往生。決死の思いで何とか渡った時には心の底から安堵し、「やったー」と達成感すら感じました。今年ベトナムスタディツアーに参加した人はこの感じを分かってくれますか？

何を言いたいのか、という「百聞は一見に如かず」、つまり「経験しないとわからない」ということなのです。現代はインターネットの発達により、知りたい情報はすぐ手に入ります。「ベトナム、交通事情」と検索すれば、道路がいかに広がったバイクや自動車の

画像がたくさん出てきて、私たちは「そうなんだ」と分かった気になります。とても便利です。でもそれで終わりにしてしまおうと、ネットは世界中と繋がって、どんな情報も得られるけれど、私自身は外に出る必要がないため、現実世界はむしろどんどん縮小する、という矛盾した事態になってしまします。それは何だか寂しいですね。

私たちは、普段の自分のテリトリーから出ることで学べるものがたくさんあります。それは何も異文化理解に限りません。たとえば部活のコンクールや大会、ボランティア活動、中高生のための〇〇教室というものもそうです。知っていたつもりだったけど、実際にやってみて目から鱗、という経験ができると思います。何か行動を起こすのは多少勇気もいるし、失敗したらいやだな、面倒だな、という気持ちもあるでしょう。でも、思い切ってやってみませんか？

清泉では皆さんの「やってみよう」という気持ちを後押しするためのプログラムを増やしています。最近始まった清泉インターナショナル学園国内留学、FLIEP、模擬国連、模擬裁判、スタディツアーなど、どれも「がんばってやってみよう」という気持ちがあれば

参加できるものばかりです。模擬国連は英語が得意な人がやるもの、というイメージがあるかもしれませんが、初心者用に日本語OKの模擬国連から始めて、校外の大会にステップアップできるようなっています。参加すると担当国のことから国連会議の仕組みまでわかって「へえー、そうだったんだ」と世界が広がるのを実感できるはずですよ。FLIEPのスカイプ英会話も二十五分ネイティブスピーカーと話すのは自分だけ、という状況を繰り返し経験することです。「こういう時はこう言えはいい」と体感するとともに自分の進歩を実感できるでしょう。もちろん楽しいだけでなく苦労もあります。一生懸命やればやるほど、思うような結果が出なかつた時は悔しさや失望を覚えるものです。でもへこたれず謙虚に頑張ることで進歩するし、強くたくましくなります。さあ、まずは学校を利用して「やってみる」を実行してみませんか？



第2回清泉模擬国連に参加した生徒たち (詳細は3ページへ)

◆ INSIDE ◆ ② 2017年私の「やってみよう」プログラム ③ 宗教研究 卒業生の講演・第2回清泉模擬国連SMUN・清泉百花百景 70期安藤千紘さん ④⑤ 高1・高2ベトナムスタディツアー行ってきました ⑥ 学生生活進行形 横浜国立大学 65期竹内萌さん ⑦ 短信・賞・国語の様々な賞を受賞

「カイロス」は、ギリシャ語で「時」という意味です。